

チューリップ畑の約束



夏野ゆみこ 作 井上美紀子 絵

sample



チューリップ畑の約束

夏野ゆみこ 作
井上美紀子 絵

sample



海が見える小さな村に、チューリップ畑がありました。

木がらしがふくと、村人たちは球根をうえました。

雪がふると、畑はいちめんがまっ白になって、こおっていきます。

でも、土の中は、あたたかいのです。

となりあわせになったチューリップたちが、楽しそうにひそひそ話をしているから。



みんな、夢があるのです。
命をかがやかせること。

陽がのびるたびに、すこしづつ茎ものび、
蕾がふくらんでいきます。

南風がふく夜でした。

あるチューリップのカップルが約束を
たしかめあいました。

「わたしたち、多くの人に喜んでもらえる
美しいブーケになるのね」
「そうだよ、ずっと、いっしょだよ」



つぎの朝、村人たちはチューリップの収穫にあつまりました。

立ちこめた霧の中、つぎつぎと摘まれていくチューリップたち。

切りそろえられた茎が、ていねいに箱に入れてられて、そわそわうきうきとしています。

みんなの夢がかないますように。

花畑の妖精たちが、ひと箱ひと箱、おまじないをかけていきます。

ためしよみ

は

ここまでです